

「性虐待などの被害児が心身の回復につながる医療機関を ハブとするCAC(Children's Advocacy Center)モデルの構築」 研究班（研究代表者：田上 幸治） 主催

性虐待被害児診察講習会

本プロジェクトが取り組む社会課題は、子ども虐待、特に性虐待の被害にあった児への取り組む仕組みを変えることにあります。性虐待は最も見つけにくい虐待であり、たとえ見つかったとしても、日本では被害を受けた子どもに優しい環境で対応できる仕組みがないために、二次被害を生み出しうる状況となっています。

このような状況を変えるために、本プロジェクトは、北米で展開されている、子どもに優しい環境で、聞き取り、診察、心のケアがワンストップで受けられるCAC(Children's Advocacy Center)の日本における構築を模索しています。

新たな取り組みを始めるうえで、官主導で進めていくことは実際には困難であり、現時点では、医療機関を中心とした対応整備をすることが不可欠と考えていますが、そのためには、その担い手としての医療者の育成を行う必要があります、この度「性虐待被害児診察講習会」を企画しました。

医療者の職責として、適切な証拠保全・緊急避妊や性感染症防止を行うことは重要ですが、子どもにおいては、診察が再被害にならないよう細心の注意を払いつつ、系統的全身診察の一環として外性器肛門部診察を行う必要があります。当講習会はその実践的なロールプレイを含め、一日半をかけ様々な基本知識を学ぶ機会となります。

また、医療が果たすべき職責を、警察／検察、児童相談所、性暴力被害者支援団体の職員と共有することも欠かすことは出来ません。地域の関係職種が共に当講習会で学び合うことは、地域におけるCAC構築の推進に不可欠と我々は考えています。

日時：令和6年1月20日（土） 14:00～18:00

1月21日（日） 9:00～15:30

場所：前橋赤十字病院2階 大会議室（前橋市朝倉町389番地1）

対象：性虐待被害児の対応を行う立場にある医療者

（および医療者と連携する立場の児童相談所・警察・検察・被害者支援団体などの職員）

費用：無料

申込み先：下記URLより、1月12日までに申込みください

<https://forms.gle/UFrFrTGwpKL6gbDz9>



共催：
群馬県児童虐待防止医療ネットワーク事業

問い合わせ先：
前橋赤十字病院 医療社会福祉課 望月
027-265-3333（代）
hiroko.mochizuki@maebashi.jrc.or.jp